



サガン鳥栖

歴代記念配布ユニフォームでマスクをつくろう 1/2



Story

2021Jリーグ！シャレンアウォーズでは、「歴代記念配布ユニフォームでマスクをつくろう」をエントリーさせていただきます。この取り組みは全国的にマスクが不足していた4月から5月にファン・サポーターに向けてマスク生地としてユニフォームを提供し、ご自宅でのマスク製作に役立てていただくというものです。生地として提供するユニフォームはこれまで来場者に対してスタジアム配布を行ってきた17種類のユニフォームを再利用しました。また、佐賀県の公益財団法人と協力し、余分に作ったマスクを子ども食堂や放課後児童クラブに寄付できる仕組みを作りました。マスクをつくることができ、寄付もできるというとてもシンプルな企画でしたが、ファン・サポーターの皆さん、地域の企業様、活動団体様、メディアなどを通して少しずつその輪が大きくなり、最終的に私たちが想像していた以上の反響をいただく取り組みとなりました。その過程や背景を皆さんと共有できればと思います。

【活動の背景・詳細】

サガン鳥栖ではこれまで17種類のユニフォームを来場者へ配布してきましたが、予備分のユニフォームを倉庫に保管していました。2020年4月頃、世の中ではマスク不足が叫ばれており、マスクを買うために行列ができ、買い占めが起きたりしていました。そのような状況にこのユニフォームの在庫をマスク生地として提供すれば役に立てるのではないかとこの取り組みが始まりました。もう1つ課題として考えていたことはコロナ禍のネガティブな雰囲気やを少しでもポジティブに変える取り組みにできないだろうかという点でした。1枚のユニフォームを目一杯使えば、10枚以上のマスクをつくることができます。もし、その中の数枚を困っている誰かにプレゼントできれば、よろこぶ人が増えるのではないかと。そう考えて、余分に作っていただいた方はサガン鳥栖へ返送いただければ、公益財団法人を通じて佐賀県の子ども食堂や放課後児童クラブへ寄付ができる仕組みを作りました。1ヶ月の間に3000名を超える応募があり、5,454枚の寄付が集まりました。うち300枚は地域の企業様(27企業)に製作いただき寄付していただきました。コロナ禍にファン・サポーターの皆さん、地域の企業様と一体となって取り組めたことは、クラブの歴史を振り返る上で大きな財産になることと思います。寄付されたマスクは5月中旬、久しぶりに友達と再会した子どもたちにサプライズプレゼントとしてお届けしました。

【試行錯誤を繰り返した部分】

生地はマスクとして効果があるのか、うまく裁縫できるのか、どのように郵送するのか、お金をいただいていいものなのか、など検討すべき事項が多くありました。裁縫が得意な社員が試作品を作り、通気性やマスクらしい形になるかを検証しました。今でこそ様々なデザインのマスクが販売されていますが、当時はユニフォーム柄のデザインを生活の中で使っただけか頭を悩ませました。工程については、幸いにも地域のハンドメイドショップに協力していただくことができ、型紙や製作手順の説明書を作成し、分かりやすい説明でファン・サポーターの皆さんに製作に取り掛かっていただけたと感じています。郵送するための袋詰め作業においても、蜜を避けるためスタジアム前の広場に机を並べ社員、アカデミースタッフ、スクールコーチで行いました。

【サガンティーンと全国のサッカーファミリーに感謝】

バリエーション豊富な17種類の配布ユニフォームがあったことは、どれが手元に届くのか楽しみに待っていただくことができ、完成したマスクにも様々な個性あふれるデザインが生まれて良かったと思います。「当時の試合を思い出しながら、STAYHOMEを楽しめました。」という声を多くいただきました。また全国放送のメディアに取り上げていただいたこともあり、県内だけではなく日本各地から申し込みをいただきました。中でも他クラブのサポーターや日頃あまりサッカーを観ない方から応募をいただいたことは、私たちも想定していない大変嬉しい出来事でありました。また清水エスパルス様とは情報交換を行いながら同様の取り組みを実施されており、SNS上で「#サガン鳥栖ユニマスク、#エスパルスマスク」のハッシュタグでファン・サポーターを交えた交流ができました。この交流は共通の社会課題を複数のクラブで解決できる可能性を感じさせるものであり、今後のシャレン活動において応用できるように思います。

【最後に】

2020年は誰もが不安や無力感を感じたことかと思えます。しかし、そうした状況の中でも人は人のことを思いやることができ、誰かの役に立ちたいと考えることができるということをこの企画を通して皆さまから教えていただきました。関わっていただいたすべての皆さまにこの場を借りてお礼申し上げます。



サガン鳥栖

歴代記念配布ユニフォームでマスクをつくろう 2/2



活動詳細情報はこちら



<https://www.sagan-tosu.net/news/p/4583/>

<https://www.sagan-tosu.net/news/p/4609/>

活動場所

ご自宅、オフィス、県内の子ども食堂、放課後児童クラブ

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ



協働者

企業、NPO、住民、学校

協働者名

公益財団法人佐賀未来創造基金、
NPO法人放課後児童クラブ、
ハンドメイドショップ SUSIE、布作家tonto様、
地域の企業様(27企業)

